

学科名	音響芸術科
コース名	レコーディングエンジニア専攻
授業科目	実習・演習 3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	180
単位数	6
担当教員	川澄・丸山・寺村・伊藤
実務経験	有
実務経験職種	レコーディングエンジニア
授業概要	専攻別にわかれた実習制作を行います。
到達目標	マイクロフォンの適切な使い方をマスターする。現場さながらのスタジオワークを通して、準備、セッティング、チェック、音作り、レコーディング、オーバーダビング、ミックスといった様々な項目をグループワークを通して、各々の役割も把握する。またエンジニア以外のスタッフ、ミュージシャンとも適切なコミュニケーションが取れる。楽器やアーティストの声を聞き分けて適切なエフェクト処理を行い、ミックスを完成させる。
授業方法	演習においては講義形式でスタジオ機器、スタジオワーク、音作りについて学ぶ。スタジオワーク授業回によってアーティストとともに実習する。その際はアーティストの立場や作りたい音をよく考え、アーティストに信頼されるエンジニアになるための姿勢も学ぶ。
成績評価方法	実習参加度、レポート、作品提出
履修上の注意	この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	音響映像設備マニュアル、適時プリントを配布する。
授業計画	
第1回	演習:エンジニアの知識確認電気、様々なオーディオフォーマット、PC関連の知識がわかる。
第2回	マイクロフォンの確認学内にあるマイクロフォンの機能と種類がわかる。
第3回	演習:アナログ卓復習アナログ卓(SSLのブロックダイアグラムを理解)が使える。
第4回	ドラムのサンプリング音源をつくる様々なマイク、セッティングにより、単音を収録できる。
第5回	アナログ卓復習スタジオのアナログ卓の操作方法について復習し、操作できる

第6回	アナログ卓復習スタジオのアナログ卓の操作方法について復習し、操作できる2
第7回	演習:マイクロフォンの紹介マイクロフォンのメーカー、代表的なマイクがわかる。
第8回	ジャズバンドの録音
第9回	ジャズバンドの録音:ダビング
第10回	演習:アーティストの立場を研究スタジオ、ライブ、パートごとのモニターの目的がわかる。
第11回	ドラムとピアノに合わせたメーカー別、目的別に班分け、自分のベストセッティングができる。
第12回	リズムセッティング1バンドレコーディングのセッティングがスムーズにできる
第13回	演習:バンドセッティングいくつかのバンド編成をもとに回線図、準備図を書ける。
第14回	アーティストの立場を研究モニターの研究。アーティストに合わせたモニターづくりができる。
第15回	リズムセッティング2セッティングと回線チェックが素早く、正確にできる

学科名	音響芸術科
コース名	MAエンジニア専攻
授業科目	実習・演習 3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	180
単位数	6
担当教員	ジミー寺川・尾崎・阿部
実務経験	有
実務経験職種	MAエンジニア
授業概要	専攻別にわかれた実習制作を行います。
到達目標	エンジニア、サウンドクリエイターとしての映像・放送業界でのProTools（ソフトウェア）の使い方ができる。作品の音響制作においての基礎知識を養い、現場に出てから活躍するために必要な能力を具体的にイメージする。社会や組織で協働することの重要性を理解することができるようになることが目標である。
授業方法	演習は講義形式で行う。作品制作を通し撮影から編集、MAと映像作品、放送業界の仕事の流れを理解、映像作品に対して効果音、選曲、整音、ミキシングなどの役割を決めグループで作品を完成させる。また、完成した作品は全員で評価し自分の意見を発表することにより人に伝える力を養う。
成績評価方法	授業内課題、作品提出、実習参加度にて評価する。
履修上の注意	キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。グループ作業に於いて積極的ではない学生に対して、社会に出た際の協働の必要性を伝え、積極的な参加を促すことが必要となる。
教科書・教材	適時プリントを配布する。
授業計画	
第1回	演習:映像制作の流れ
第2回	スタジオセッティング1
第3回	スタジオセッティング2
第4回	演習:ポストプロダクションの仕事
第5回	ProTools設定

第6回	基本の設定
第7回	演習:MAと言う仕事
第8回	エフェクター1
第9回	エフェクター2
第10回	演習:ロケーション
第11回	作品制作1
第12回	作品制作2
第13回	演習:Word,Exele
第14回	作品制作3
第15回	作品制作4

学科名	音響芸術科
コース名	ラジオスタッフ専攻
授業科目	実習・演習 3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	180
単位数	6
担当教員	坂下冬樹 横倉直 松本蓮
実務経験	有
実務経験職種	ラジオ番組ディレクター
授業概要	専攻別にわかれた実習制作を行います。
到達目標	番組企画の立て方や企画書、台本の制作方法を学び、実際にデジタル・スタジオでの収録や校外を含む取材、実験収録、そして豊富な音源とサンプラーやProToolsまたはAuditionを使用した音源編集による素材作りの後、スタジオ機器を使用したミックス、選曲と音の演出方法など、ラジオ番組を制作する上で必要な力を身につけることを目標とする。
授業方法	演習は講義形式で行う。ミキサー卓のフェーダーの上げ方のコツや出演者、スタッフへのQの出し方など、現場で要求される細かな手業からサウンド・ステッカー制作、ナレーション収録、ProToolsまたはAuditionなどを使用したナレーション編集・楽曲編集を経て、それらをミックスした完パケまでの過程を学び体得する。
成績評価方法	実習参加度、課題提出、作品提出
履修上の注意	普段から、音楽を流し聴きにとどめず、仕事の結果としての作品として鑑賞、分析、研究する習慣をつけておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	適時プリントを配布する。
授業計画	
第1回	演習:一つの楽曲の構成や背景の理解
第2回	スタジオシステム1
第3回	スタジオシステム2
第4回	スタジオシステム3
第5回	音の編集

第6回	音の加工
第7回	スタジオ収録
第8回	番組制作1
第9回	番組制作2
第10回	スタジオ収録
第11回	番組制作3
第12回	番組制作4
第13回	スタジオ収録
第14回	視聴会、音の聞き方
第15回	番組制作5